

三保松原の持続的な松林の保全・管理の取組



経済産業部 森林・林業局

世界文化遺産への登録と管理・保全の取組

登録と保全の取組

○世界文化遺産登録（平成25年6月）
構成資産としての「三保松原」を含む
世界文化遺産「富士山－信仰の対象と
芸術の源泉」の誕生

○保全状況報告書の提出
（平成28年1月、平成30年11月）



世界遺産登録時の状況(カンボジア)

保全状況に関する決議

○保全状況報告書が決議（令和元年7月）

富士山の**管理・保全の責務**を継続して
果たしていることが**承認**



審議状況(アゼルバイジャン)

三保松原の松林保全の対応状況

○三保松原の松林保全技術会議（平成26年12月）

【座長 近藤元文化庁官】自然の力を最大限活かす新たな松林保全の方向性を提言

○三保松原保全実行委員会（平成27年1月～）

【座長 難波副知事 ・ 副座長 安田補佐官、静岡市副市長】

県と静岡市の緊密な連携のもと、提言に基づく三保松原の保全を確実に推進

松林保全技術会議の提言

- ①自然にやさしい手法の導入試験や開発
- ②極力薬剤に頼らない松林保全
- ③地域の人々が保全活動を展開する仕組みや拠点づくりの設置
- ④マツのデータベース化
- ⑤最新の科学技術の知見を取り入れた順応的管理

対応状況

- ①菌根菌による土壌改良で樹勢回復



菌根菌による
土壌改良

評価対象木16本のうち7本で樹勢回復 (H30.10)

- ②マツ材線虫病の徹底的な防除による微害化



ドローンを活用した薬剤散布でマツ材線虫病の徹底的な防除

目標1本/haに対し0.65本/ha (H31.3)

三保松原の松林保全の対応状況

松林保全技術会議の提言

- ①自然にやさしい手法の導入試験や開発
- ②極力薬剤に頼らない松林保全
- ③地域の人々が保全活動を展開する仕組みや拠点づくりの設置
- ④マツのデータベース化
- ⑤最新の科学技術の知見を取り入れた順応的管理

対応状況

- ③～⑤

○拠点：静岡市三保松原文化創造センター
(平成31年3月オープン)

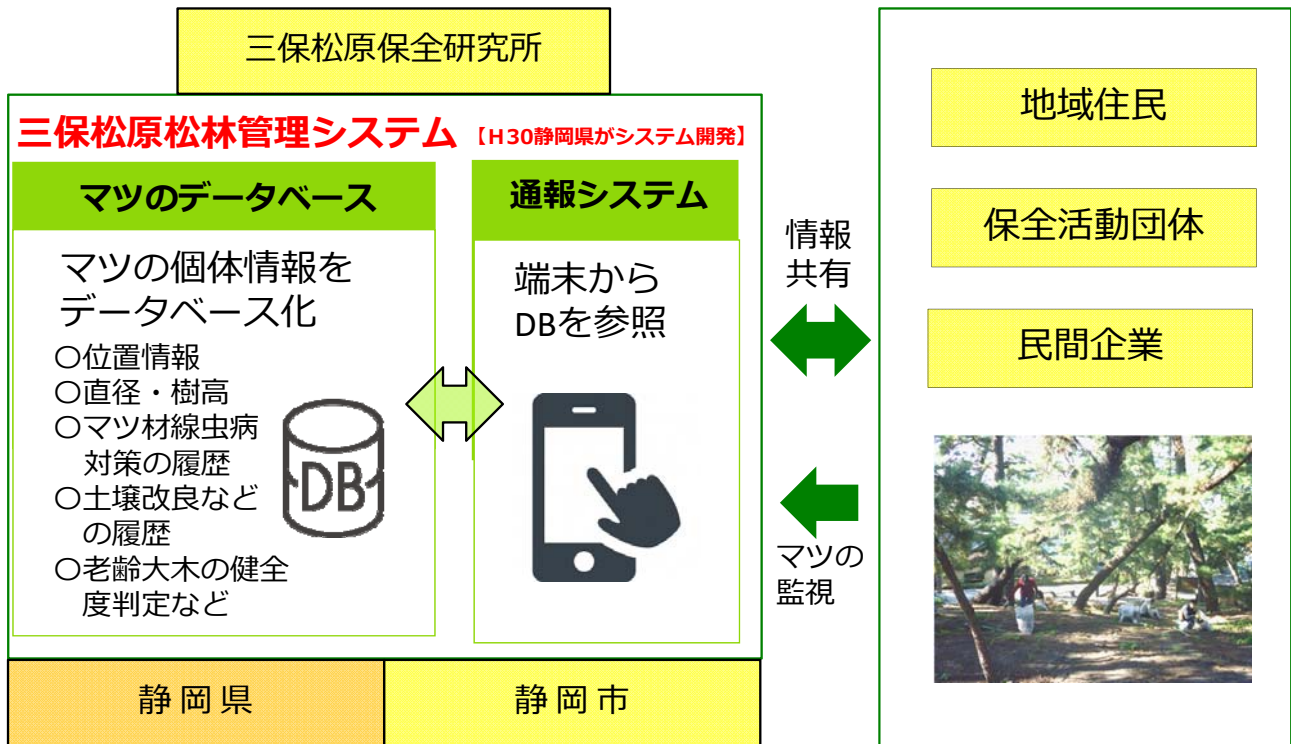


○組織：(一財)三保松原保全研究所
(令和元年6月設立)

出資者：静岡県、静岡市、民間企業3社

○情報基盤：三保松原松林管理システム

三保松原松林管理システムの役割

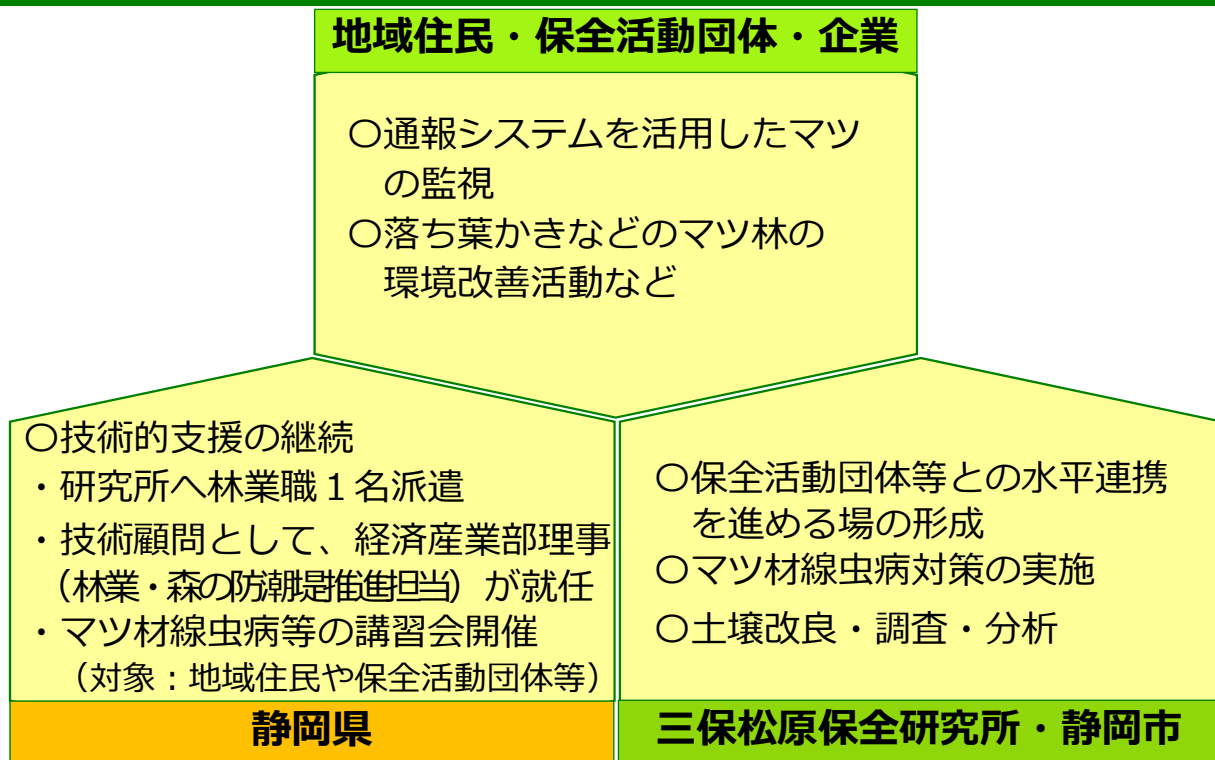


ARアプリを活用した通報システム



三保松原保全研究所 → 速やかな現場確認・迅速な対応

三保松原の持続的な松林の保全に向けた今後の取組



**地域住民・保全活動団体・企業、県、研究所・静岡市が連携して
世界文化遺産富士山の構成資産である三保松原を次世代に継承**